

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	洛和山科小山児童園 てくてく親子教室		
○保護者評価実施期間	R7年3月11日 ～ 年 月 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○従業者評価実施期間	R7年3月6日 ～ 年 月 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	R7年2月下旬 ～		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	1	(回答数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月18日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	発達支援の領域で経験を積んできた心理職が携わっていること	多機能であるため、児童発達支援と園それぞれでの様子について、児童発達担当者と密に話し合うことができる。そして、それぞれの場で必要な支援について協議が持てる。	より多様な職種の専門性をもって、保育所等訪問支援が継続できるように、人材の確保と育成に努めたいと思います。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	直接支援、間接支援、保護者支援や連携についての専門知識や技術をもつ人材育成、人材確保	職員体制は小規模・多機能の人員基準に準じて配置しており、職員数が豊富であるとは言えない現状です。したがって、児童発達支援・放課後等デイサービスと兼務せざるを得ず、保育所等訪問支援として外出できる体制を整えることが難しい状況です。	児童発達支援をメインで運営しているため、児童発達支援における人員を確保を優先しています。保育所等訪問支援が継続できるよう、当事業所が所属する部門と協議していきます。